



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月31日

上場会社名 東北特殊鋼株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5484 URL <http://www.tohokusteel.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 真司
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 高橋 隆行 TEL 0224-82-1010
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,477	7.4	787	△31.2	870	△24.2	670	△20.5
2022年3月期第2四半期	9,756	35.3	1,143	168.6	1,147	107.8	843	116.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 674百万円 (△23.0%) 2022年3月期第2四半期 875百万円 (89.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	89.04	—
2022年3月期第2四半期	111.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2023年3月期第2四半期	32,601		25,890		79.4	
2022年3月期	31,217		25,314		81.1	

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 25,890百万円 2022年3月期 25,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2023年3月期	—	15.00			
2023年3月期（予想）			—	18.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	7.1	1,580	△22.3	1,650	△23.0	1,220	5.7	162.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,550,000株	2022年3月期	7,550,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	21,071株	2022年3月期	21,071株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	7,528,929株	2022年3月期2Q	7,528,929株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があることをお含みおきください。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染対策が進み正常化の兆しが見られましたが、半導体不足の長期化やロシアによるウクライナ侵攻により不安定な状況となっております。一方でわが国経済は、中国の都市封鎖によるサプライチェーン混乱や原材料価格高騰等の影響を受け、内需の回復は鈍化しております。

特殊鋼業界の主要な需要先である自動車産業においては、半導体等の部品不足により生産台数は計画を下回り、混乱は長期化しております。

このような環境の中、当社グループの特殊鋼事業につきましては、販売価格に原材料価格の上昇分を転嫁することで売上高は前年同四半期実績を上回りました。しかしながら、電力や副資材等の価格高騰により大幅に増加した費用については販売価格へ十分転嫁できていないことから、利益面では前年同四半期実績を下回り、増収減益となりました。

不動産賃貸事業につきましては、売上高は商業施設の店舗改装工事等が減少したことに伴い前年同四半期を若干下回ったものの、安定的に収益を確保いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ720百万円増の10,477百万円となりました。経常利益は前年同四半期に比べ277百万円減の870百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ172百万円減の670百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①特殊鋼事業

売上高は前年同四半期に比べ764百万円増の9,321百万円、セグメント利益（営業利益）は361百万円減の214百万円となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は前年同四半期に比べ43百万円減の1,155百万円、セグメント利益（営業利益）は4百万円増の573百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,384百万円増加し、32,601百万円となりました。主な要因は次のとおりであります。

- ・現金及び預金が419百万円増加しております。
- ・機械装置及び運搬具が1,172百万円増加しておりますが、この大部分は溶解設備等の稼働開始に伴う建設仮勘定からの振替によるものであります。

一方、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ808百万円増加し、6,710百万円となりました。主な要因は次のとおりであります。

- ・原材料価格高騰等により支払手形及び買掛金が225百万円、電子記録債務が680百万円各々増加しております。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益670百万円を主な要因として、前連結会計年度末に比べ576百万円増加し、25,890百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント低下し、79.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ419百万円増加し、6,209百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、916百万円の増加（前年同四半期は840百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益870百万円に、プラス要因として減価償却費342百万円、仕入債務の増加額913百万円、マイナス要因として棚卸資産の増加額335百万円、売上債権の増加額147百万円、法人税等の支払額353百万円、災害損失の支払額235百万円等を調整した結果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、406百万円の減少（前年同四半期は62百万円の減少）となりました。これは、プラス要因として有価証券の償還による収入200百万円、マイナス要因として投資

有価証券の取得による支出300百万円、有形固定資産の取得による支出290百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、98百万円の減少（前年同四半期は68百万円の減少）となりました。これは、配当金の支払額97百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、本日公表いたしました「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ」にて記載のとおり、2022年5月13日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,539,716	5,959,173
受取手形	93,095	109,661
売掛金	3,027,557	3,172,619
電子記録債権	1,230,207	1,244,423
有価証券	900,235	699,897
商品及び製品	612,427	822,424
仕掛品	1,639,716	1,824,747
原材料及び貯蔵品	1,174,334	1,145,075
その他	232,251	441,417
貸倒引当金	△364	△375
流動資産合計	14,449,178	15,419,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,372,795	4,337,288
機械装置及び運搬具（純額）	2,010,487	3,182,777
工具、器具及び備品（純額）	163,860	196,255
土地	2,282,432	2,286,223
建設仮勘定	1,182,364	184,465
その他（純額）	20,697	21,677
有形固定資産合計	10,032,638	10,208,688
無形固定資産	65,168	77,245
投資その他の資産		
投資有価証券	6,223,889	6,430,774
繰延税金資産	208,646	235,290
その他	238,180	230,895
貸倒引当金	△612	△459
投資その他の資産合計	6,670,103	6,896,501
固定資産合計	16,767,910	17,182,435
資産合計	31,217,088	32,601,500

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,655,298	1,881,216
電子記録債務	321,418	1,002,145
未払法人税等	371,179	212,020
賞与引当金	342,125	376,723
役員賞与引当金	5,250	—
災害損失引当金	266,000	64,078
その他	876,191	1,090,106
流動負債合計	3,837,462	4,626,290
固定負債		
長期預り金	1,846,624	1,846,624
修繕引当金	135,420	155,778
退職給付に係る負債	77,550	77,010
その他	5,391	4,800
固定負債合計	2,064,986	2,084,213
負債合計	5,902,448	6,710,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,500	827,500
資本剰余金	560,993	560,993
利益剰余金	23,303,053	23,875,557
自己株式	△18,316	△18,316
株主資本合計	24,673,229	25,245,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	713,682	652,122
為替換算調整勘定	△72,271	△6,861
その他の包括利益累計額合計	641,410	645,261
純資産合計	25,314,639	25,890,995
負債純資産合計	31,217,088	32,601,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,756,783	10,477,104
売上原価	7,739,096	8,716,263
売上総利益	2,017,687	1,760,840
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	152,343	152,421
給料及び手当	227,123	255,834
賞与引当金繰入額	86,474	103,471
退職給付費用	9,020	11,589
その他	398,902	450,306
販売費及び一般管理費合計	873,865	973,623
営業利益	1,143,822	787,217
営業外収益		
受取利息	17,564	16,042
受取配当金	16,175	15,787
仕入割引	12,075	8,783
為替差益	—	41,189
その他	7,826	10,440
営業外収益合計	53,641	92,244
営業外費用		
支払手数料	5,537	5,581
為替差損	39,081	—
その他	5,215	3,805
営業外費用合計	49,834	9,386
経常利益	1,147,628	870,075
税金等調整前四半期純利益	1,147,628	870,075
法人税、住民税及び事業税	317,332	200,004
法人税等調整額	△12,877	△309
法人税等合計	304,454	199,695
四半期純利益	843,173	670,380
親会社株主に帰属する四半期純利益	843,173	670,380

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	843,173	670,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,793	△61,559
為替換算調整勘定	△35,091	65,410
その他の包括利益合計	32,701	3,851
四半期包括利益	875,875	674,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	875,875	674,232

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,147,628	870,075
減価償却費	344,158	342,826
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△77	△141
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,598	34,432
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,220	△5,250
修繕引当金の増減額 (△は減少)	9,634	20,358
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,239	△941
受取利息及び受取配当金	△33,739	△31,830
支払手数料	5,537	5,581
為替差損益 (△は益)	38,400	△17,963
投資有価証券評価損益 (△は益)	138	338
投資有価証券売却損益 (△は益)	△591	△648
固定資産除却損	0	1,109
有形固定資産売却損益 (△は益)	157	426
売上債権の増減額 (△は増加)	△119,795	△147,985
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△296,455	△335,525
仕入債務の増減額 (△は減少)	△279,676	913,908
未払消費税等の増減額 (△は減少)	97,706	△109,675
未収消費税等の増減額 (△は増加)	50,441	—
その他の資産の増減額 (△は増加)	△129,472	△292,782
その他の負債の増減額 (△は減少)	48,581	133,788
その他	△0	△0
小計	890,193	1,380,102
利息及び配当金の受取額	35,061	31,466
保険金の受取額	97,670	100,000
災害損失の支払額	—	△235,633
法人税等の支払額	△177,238	△353,939
その他	△5,537	△5,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	840,148	916,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,200	—
定期預金の払戻による収入	222,876	—
有価証券の償還による収入	211,960	200,000
有形固定資産の取得による支出	△585,644	△290,716
無形固定資産の取得による支出	△5,338	△22,423
投資有価証券の取得による支出	△270	△300,269
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の売却による収入	6,091	6,139
従業員に対する貸付金の回収による収入	818	150
補助金の受取額	17,000	—
その他	105	574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,601	△406,544
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△67,832	△97,905
その他	△997	△616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,829	△98,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,584	8,109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	684,132	419,456
現金及び現金同等物の期首残高	5,428,591	5,789,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,112,723	6,209,173

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。